

## 地域活力創出事業 1

### || 事業名 ||

備中発！地域産業の魅力発信事業

### || 事業の概要 ||

商工団体、農業団体等と連携し、備中地域ならではの地域資源を活用して開発した特産品等の課題に対する専門のアドバイザーによる商品のブラッシュアップ、見本市への出展、商品開発・販路開拓に向けたセミナーの開催などの支援による売れ筋商品化を図った。

地域づくり団体、商工団体等と連携・協働し、備中局管内の様々な業態の企業等を一堂に紹介する企業展を開催し、その際、管内大学と連携し学生等をスタッフとして参加させることで、県内企業の魅力を知らない学生等と自社の魅力を伝えきれず学生等の採用に至らない企業とのマッチングの場とした。加えて、参加企業等による交流の場を設け、異業種間のネットワークを構築することで新たな商品開発のきっかけづくりとなった。

### || 協働の主体、役割分担 ||

協働の主体	役割分担
備中県民局管内の商工団体等	事業参加者の募集等への協力
公益財団法人岡山県産業振興財団	備中地域ならではの特産品等の売れ筋商品化における専門家派遣、展示商談会への出展の実施
一般社団法人水辺のユニオン	企業展の開催及び異業種交流の推進
県民局（協働推進室）	各種広報媒体を使ったPRの実施、プレスへの連絡など

### || 実施状況 ||

#### 1 備中地域ならではの特産品等の売れ筋商品化〔取組事業者数：21〕

- ・専門家派遣〔15事業者〕

パッケージデザイン、ネーミングの一新、ブランド戦略の構築、経営戦略の見直し、販路の開拓支援等

- ・県外見本市（2月開催）への出展〔11事業者〕

2月6日から3日間、東京ビッグサイトで開催されたグルメ&ダイニングスタイルショーに備中県民局ブースを設け、出展支援

- ・ブラッシュアップセミナーの開催（倉敷・高梁・笠岡・新見の4箇所で開催）

取組事業者に限らず、幅広く事業者の底上げを図るため、商品のブラッシュアップや販路開拓をテーマに講演と事業者との意見交換会を実施。各会場約40名参加。

- ・各種広報媒体を用いて事業者のPRの実施

OHKテレビ特番3月9日(土)13:30～14:00放送、フェイスブックでの広報等



専門家派遣



グルメ&ダイニングスタイルショー 新製品コンテスト大賞・準大賞受賞



## 2 企業展の開催及び異業種交流の促進

- ・企業展「龍の仕事展」を倉敷アイビースクエア内にて開催  
50事業者が参加、期間中（9月15日～23日）の来場者数：約8,700人  
学生をスタッフとして参加させて地場産業への理解促進  
（出展企業への工場見学の実現）  
参加企業等による異業種間のネットワークの構築（出展企業共同の製品開発の実現）



実行委員会



龍の仕事展



交流会

### || 成果・効果 ||

積極的な商談実施による販路の拡大、全く新たな視点からの販売戦略の構築、商品の品質改善などの成果が見られた。

- 1 専門家派遣によるブラッシュアップ
  - ・い草製品：土産物販売から一歩踏み出し若者向けの新ブランドの立ち上げに着手
  - ・造り酒屋：積極的な商談会への出展により一時品薄になるほど売り上げ増加
- 2 見本市への出展
  - ・商談成立・見積依頼 177件 後日訪問・アポ取り 191件
  - ・出展により念願だった大手流通グループとの取引につなげた事業者など数多くの成果が見られたほか、新製品コンテストベバリッジ部門で出展企業（レッドライスカンパニー株、丸本酒造株）の製品が大賞、準大賞を、また日本全国美酒鑑評会冷酒部門で出展企業（菊池酒造株）の製品が大賞を受賞。出展企業同士の業務提携もみられた。

### || 来年度以降に向けての展開 ||

引き続き当該事業を行うに当たり、広範にきめ細かく地域の事業者の底上げを図るため、マスコミへの積極的な広報の実施、売れ筋商品化する企業の掘り起こしなどを行うとともに、商工会議所・商工会、農業団体、企業等から産業振興に関するニーズを聴取し、効果的な事業の実施を図る。

## 地域活力創出事業 2

### || 事業名 ||

「強み」を生かした備中地域の観光振興

### || 事業の概要 ||

「備中地域広域観光振興協議会」を推進主体に、備中地域観光の「強み三素材」として「まちなみ」、「麺」、「酒」を取り上げ、これらを生かした広域観光ルートを設定することにより備中地域の観光の魅力をさらに向上させる。特に倉敷駅北の大型商業施設への買い物客等に対して売り込みを行い、買い物客を備中管内全域へ誘導する施策を行う。

### || 協働の主体、役割分担 ||

協働の主体	役割分担
備中地域広域観光振興協議会	備中地域観光の「強み三素材」のPR
マスコミ	備中地域観光の「強み三素材」の紹介番組・広告の制作
三素材に関する店舗、酒蔵	三素材の魅力向上、情報発信
市町・商工会議所・商工会	地元にある三素材の魅力向上、情報発信支援
県民局（協働推進室）	備中地域観光の「強み三素材」の情報発信

## 実施状況

### 1 「おでかけ B!chu スタンプコレクション」の実施

備中地域の強み三素材（町並み、麺、酒）と穴場的スポットを組み合わせた周遊型スタンプラリーを実施した。

実施期間：平成24年9月15日～  
平成25年2月10日



#### コンセプト

- ①アウトレットへの来訪者をターゲットとし、買い物へ来る道中の前か後に、1カ所でも管内の観光地へ足を運んでもらう仕掛けとする。
- ②これまでのありきたりの情報とは差別化し(管内のよく知られている名所旧跡は観光協会で紹介済み)、消費者が求めている「行ってみたい・教えたいたい」の穴場スポットを紹介しながら管内に誘導する。(最近の旅行動向であるが、メジャーな観光地にはない希少感を求める人が増えており、今回はあまり知られていない穴場的な名所を訪問するという点に配慮。)
- ③ターゲットである20～40代の女性が主に日帰りの買い物帰りにどこかに立ち寄ってもらうことをイメージ。
- ④昨年度から推進している備中の観光面での強みである三素材「町並み」、「麺」、「酒」(今回は車で訪訪者を想定し飲酒については控えめとする)をとりあげる。

コース数：20コース

スタンプ設置：60カ所

参加方法：チラシ・スマートフォンのアプリ

チラシ設置場所：三井アウトレットパーク倉敷、アリオ倉敷、管内市町、県内観光案内所、岡山空港、JR各駅(岡山、倉敷、児島、福山等)、NEXCO西日本各サービスエリア(宮島、小谷、福山、吉備、石鎚山、豊浜)、倉敷市内のホテル・旅館、岡山大学及び吉備国際大学等管内大学、参加店舗等

応募件数：3,282件

### 2 ポスターの掲出

スタンプラリーの魅力进行訴えるポスターを制作し、倉敷駅北の大型商業施設、JR駅等に掲出した。

掲出先：三井アウトレットパーク倉敷等大型商業施設、JR各駅(岡山、倉敷、福山、姫路ほか)、県内観光案内所、岡山空港、倉敷市内のホテル・旅館、NEXCO西日本、参加店舗等



ポスター

### 3 ホームページ等による広報

県民局のホームページやフェイスブックでの情報発信はもとより、岡山県観光総合サイト「晴れらんまん。おかやま旅ネット」のトピックス及びトップ画面での周知を行い、また、パソコンサイト及びスマートフォンサイトへスタンプラリーのバナーを設置し広報を行った。

### 4 情報誌「タウン情報おかやま」への記事広告掲載

ビザビリレーションズが発行する「タウン情報おかやま」に記事広告としてスタンプラリーの内容を掲載するとともに、中四国及び奈良タウン誌の共同企画（全3ページ）として情報発信を行った。

### 5 県外の旅行エージェント・マスコミに対する観光キャラバン等の実施

晴れの国おかやま観光キャラバン隊の協力を得て広島、香川、愛媛のテレビ、ラジオ、新聞社を訪問しスタンプラリーのPRを行った。

また、大型商業施設を訪問する旅行商品を作成している中四国の旅行エージェント（12社）に対してスタンプラリーを含む商品造成を依頼した。

実施時期：平成24年10月2日（広島）  
平成24年10月10日（香川）  
平成24年10月11日（愛媛）  
平成24年11月20日（関西）



### 6 新聞媒体等によるPR広告

山陽新聞社(全県版、レディア)、中国新聞社(備後地方版)、四国新聞社(オアシス)及び県内の生活情報誌「月刊プラザ」にスタンプラリーの広告を掲載するとともに、ラジオ・テレビ番組に取り上げてもらうなど県内、県外に向けてのPRを実施した。

### 7 テレビ特別番組「Voice 21」の制作

放送局：山陽放送

内容：スタンプラリーに絡めて「町並み」、「麺」、「酒」など備中地域の観光面での強みに関すること

放送日：平成24年11月25日

### 8 FMラジオ番組「ステーションらんでぶ～SP」の制作

放送局：岡山エフエム（ネット：FM山陰、FM香川、FM高知）

内容：スタンプラリーに関すること

放送日：平成24年10月6日・13日・20日・27日（計4回）

### 9 大型商業施設等での観光展の実施

大型商業施設等への来訪者に向けて管内の観光情報を発信するため、観光PRコーナー等を設置し宣伝活動を実施した。

開催時期：平成24年 8月25日 MOP倉敷  
平成24年 9月15日 MOP倉敷  
平成24年 9月15日 せんちゅうパル  
～17日 （大阪市）  
平成24年10月20日 MOP倉敷（新見市参加）  
21日 MOP倉敷（新見市参加）



平成25年 1月26日 MOP倉敷  
27日 MOP倉敷 (総社市・総社市観光協会・新見市参加)  
※10月、1月は、倉敷市観光誘致協議会との共同実施  
平成25年 3月23日 MOP倉敷  
24日 MOP倉敷

## 10 三井アウトレットパーク倉敷による情報発信

三井アウトレットパーク倉敷への来訪者等に向けて管内の観光情報を発信するため備中地域広域観光振興協議会専用のHPを作成し、三井アウトレットパーク倉敷HP内へバナーの設置を行い管内の観光情報を発信した。また、三井アウトレットパーク倉敷がイベント情報としてスタンプラリーを取り上げ期間中ずっとHPに掲載した。

内 容：(1)管内市町の観光情報(市町HP等へリンク)  
(2)スタンプラリーの情報

掲載期間：平成24年9月15日～平成25年2月10日



バナー



### 成果・効果

- 1 昨年度から取り組んでいる備中観光の「強み三素材」については、スタンプラリーを通じて積極的にPRを行い、知名度の向上が図られつつある。
- 2 備中観光の「強み三素材」と穴場スポットを盛り込んだスタンプラリーを実施したところ、約3,300件の応募があった。
- 3 参加者をはじめ各市町・観光協会からも今までにないコース設定で大変おもしろかったと好評であり、管内の観光地等へ誘導する施策として一定の効果があった。

### 地域活力創出事業 3

#### 事業名

「おかやま元気！集落」防災モデル事業

#### 事業の概要

集落機能の維持・強化に積極的に取り組んでいる「おかやま元気！集落」において、中山間や離島地域における「防災対策のあり方」をモデル的に研究する。

事業の進め方は、沿岸部や山間部等の条件の異なる地域を数カ所選定し、大規模地震・津波等を想定した避難訓練を行い、その避難経路、所要時間、災害時要援護者の介助等の問題点を洗い出し、今後の防災体制について検討する。

#### 協働の主体・役割分担

協働の主体	役割分担内容
事業者 ・白石・島づくり委員会 ・真鍋島まちづくり連絡協議会	事業計画、避難訓練の実施、課題の把握 ※ 今後は地域の防災力強化に向けた活動を継続
笠岡市	事業者の紹介(県民局へ)、事業者の計画策定を支援、避難訓練の指導～講評
県民局	事業者の支援

#### 実施状況

- 白石島防災モデル事業  
事業者 白石・島づくり委員会  
(笠岡市白石島)  
委員長 天野 喜一郎  
期間 平成24年12月～25年2月  
避難訓練 平成25年1月20日  
参加者 350名



## 2 真鍋島防災モデル事業

事業者 真鍋島まちづくり連絡協議会  
(笠岡市真鍋島)

会長 関東 治樹  
期間 平成25年1月～3月  
避難訓練 平成25年3月5日  
参加者 180名



### 成果・効果

- ・ 小規模高齢化集落における防災対策の課題を把握した。
- ・ 予定する各計画地区に存在するニーズと新たな課題を把握した。
- ・ 地域における防災意識の向上やコミュニティ力の必要性を改めて認識した。

### 来年度以降に向けての展開

防災まちづくりのモデル地区を設け、地域住民を対象にワークショップを開催する。  
これまで取り組んできた「防災知識の普及」や「災害時要援護者支援の検討」はもとより、「防災に強いまちづくり」にも視点を置くことで地域防災力の強化につなげる。



## 地域活力創出事業 4

### || 事業名 ||

おかやま備中・ビジネスプランコンテスト

### || 事業の概要 ||

移住促進と地域外部の人材活用による地域活性化を目的として、県外在住者を対象に、大賞を受賞した場合には実際に移住してそのプランに沿って起業してもらうことを要件として、中山間地域を抱える管内市町のうち参加希望のあった笠岡市、新見市の強みを活用したビジネスプランを提案してもらうコンテストを実施した。

なお、移住・起業希望者には、県民局と受入市が中心となって必要な支援を行うこととした。

### || 協働の主体・役割分担 ||

協働の主体	役割分担内容
NPO法人吉備野工房ちみち	企画アドバイス、募集広報
地域活性化等に取り組む 県内外の方々や団体等	募集広報への協力
笠岡市・新見市	募集広報、現地視察ツアー実施、受け入れ支援
県民局（協働推進室）	企画及び事業実施、受け入れ支援

||

### || 実施状況 ||

#### 1. コンテスト概要

##### (1) 募集概要

- ・募集テーマ：笠岡市、新見市の地域資源、地域の強みの活用や地域課題の解決につながるビジネスプラン（活動の拠点とする市を選択した上で応募）
- ・大賞（賞金）：受入市ごとに大賞1名（賞金50万円（県民局と受入市で1/2負担））
- ・応募資格：岡山県外に在住する個人又は団体（任意団体、NPO法人、企業等）  
（U・Iターンを支援する事業として実施するため、岡山県内に在住されている方は応募の対象としない。）
- ・受賞後、受入市に居住し提案に沿って1年間は活動を実施すること  
（必ずしも本人が常駐する必要はないが、その場合は誰か1名以上、市内の事業所に常駐する体制を整えること。）

##### (2) スケジュール等

- ・公募期間：平成24年10月1日（月）～11月30日（金）
- ・一次審査（書類審査）：12月中旬

- ・現地視察ツアー(一次審査通過者を対象にプランのブラッシュアップの機会とする)
  - 新見市現地視察ツアー 平成25年1月11日(金)～12日(土)
  - 笠岡市現地視察ツアー 平成25年1月18日(金)～19日(土)
- ・最終プレゼンテーション大会
  - 日時：平成25年2月2日(土) 13:00～17:30
  - 場所：岡山県備中県民局会議棟
  - 内容：一次審査通過者による公開プレゼンテーション、二次審査、講演会(講師：(株)西栗倉・森の学校 代表取締役 牧 大介氏)、表彰式
  - 審査員：勝屋 久 氏 勝屋久事務所代表
  - 加藤 せい子 氏 NPO法人吉備野工房ちみち理事長
  - 牛来 千鶴 氏 (株)ソアラサービス代表取締役社長
  - その他備中県民局職員、受入市、商工会議所職員等



現地視察ツアー



最終プレゼンテーション大会

## 2. 応募状況及び審査結果

- (1) 応募状況 12件(笠岡市9、新見市3)
- (2) 一次審査通過 7件(笠岡市5、新見市2)
- (3) 最終審査結果
  - ・大賞 笠岡市 佐賀野淳(笠岡市出身、京都府在住)  
「笠岡諸島古民家リゾート化プラン」
  - 新見市 該当なし
  - ・優秀賞 笠岡市 大河澄男(福岡県出身、東京都在住)  
「笠岡で子孫に美田を残そう。」

.. ..

### || 成果・効果 ||

募集に際しては、Facebookや移住、起業関連のポータルサイト等各種媒体を活用するとともに、様々な人的ネットワークを持つ方々の協力も得ながら、移住や起業を積極的に受け入れる地域であることを全国に向けてアピールした。

また、大賞及び優秀賞受賞者が、笠岡市への移住を決定し、今後事業化へ向け、取り組む予定となっている。

### || 来年度以降に向けての展開 ||

受賞者の移住・起業を支援していくとともに、引き続きこうした起業を目指す若者等の支援などを行うことにより、移住者や起業志向を持つ意欲的な方等を積極的に受け入れている地域であることを全国に発信し、県内への移住、定住の促進へ繋げていく。